

# うまくいったやり方から捨てなさい

椎原 崇 著

単行本：211 ページ  
出版：サンマーク出版  
価格：1,400 円（税抜）

## はじめに

パチプロとして最大で月 200 万円以上を稼ぎ、若くしてセミリタイア生活を送っていた筆者。そんな中、独自の手法と観点で多くの成功者を分析し「人生を変えるための方法」を確立しました。それはいったいどういうものなのでしょうか。

## 人生の足かせ

「これまでうまくいったやり方」ほど、人生の次のステージでは「足かせ」となる。本書冒頭で筆者はこのように述べています。

人生が次のステージへ進もうとしている時、だれもが些細な違和感を抱くといえます。長年の趣味に興醒めしたり、好きな物や嫌いな物が変わったりする。そんな無視できてしまう程度の違和感によって、人は変化することを避けようとします。現状を維持することが確実・安全だと考えているからでしょう。

人は、自分が今いるステージそれぞれで、「うまくいくための方程式」が違う

公私を問わず、日々の生活が変化するタイミングは誰にでもあることです。もしその時に違和感を覚えたのなら、むしろ慣れ親しんだやり方を一度手放す絶好のタイミングなのです。

## 社長の変化

筆者の実体験を見てみましょう。パチプロで稼いだ資金をもとに飲食店を開業した筆者は順調に事業を拡大していきました。社長である自分も店舗に顔を出し、休んだ記憶がないほどがむしゃらに働いたといえます。しかし、ちょっとしたことから先ほどの些細な違和感を覚え、社員に「お任せ宣言」をしたところ状況は一変しました。店舗で働く従業員に責任を持たせることでパフォーマンス

が向上した。筆者自身も時間とお金に縛られなくなり、本当にやりたいことを模索して注力する余力が生まれた。

飲食店の創業から発展までを支えた「社長が誰よりも働くべき」というやり方を手放した筆者は、見事に人生の新たなステージで活躍されています。

## 自分のモードを知る

「本当にやりたいことが見つからないのですが、どうすればいいですか？」

これは筆者がとてもよく受ける質問だそうです。確かにそういった状況は不安です。やりたいことを見つけたと思ったのに、すぐに興味が別のジャンルに移ってしまう。そのような事もあるでしょう。その問題の原因は「本当にやりたいことではなかったから」などではなく「自分のモードが変化しているから」と筆者は考えています。

カウンセラーモード、作家モード、ビジネスマンモード、アーティストモード、女性モード、母親モード、娘モードなど、様々なモードがあるそうです。

人は自分が思っている以上に多くのモードを持っています。「やりたいことがない！」とってしまった時には、自分が今どんなモードなのか、少しでも楽しんでやれることはないのかを見つけ出す。そしてとにかく止まらずに動き続けることで、本当にやりたいことに出会えるチャンスが広がっていくのです。

人生のステージアップへ向けて、劇的な成長につながるアイデア満載の一冊です。

